

全木連時報

9月15日(日曜日)

(第658号)

平成25年(2013年)

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎03(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

全木連総務委員会 全木協連表彰選考委員会 を 開 催

振興大会の表彰候補者を決定

全木連、全木協連は、八月八日(日)に東京港区の「メルパルク東京」で、それぞれの総務委員会、表彰選考委員会を合同で開催し、来る十一月二十一日にさいたま市で開催する全国木材産業振興大会における表彰者、候補者を選考した。

この説明があった。これらの後、表彰者選考となり各都道府県木連、木協連からの推薦にもとづいて、全木連会長表彰、全木協連会長表彰計九十名を決定した。

また、会議では、最近の活動状況や情勢を報告した。主なものとして、①木材利用ポイント事業の実施状況②合法性が証明された木材の供給体制の適切な運用③全木連・木退共一般社団法人認可にかかる公益目的財産について④平成二十五年全木協連の補助事業の推進状況⑤JAPICの国産材マーク⑥T



PP交渉に向けての全

11月21日にさいたま市で開催

今年の全国木材産業振興大会

全木連・全木協連が主催する第百四十八回全国木材産業振興大会は、十一月二十一日に、埼玉県さいたま市の「浦和ロイヤルパインズホテル」で開催する。

大会は、第一部が大会議事。大会宣言を決議し、その実現をめざす。第二部は、全木連創立六十周年記念シンポジウム。テーマは木材を使う街づくりに向けて。基調講演に、日本建築士会連合会会長の三井所清典氏による「地域の復興力となる木造の住まいと街づくり」。

木連の意見⑦平成二十五年全木連利用推進「全国会議」の開催結果⑧平成二十六年全国会議日程の以上。この日は、引き続き、林野庁幹部との会議があるため、予定の議案は順調に審議し閉会した。

- 目次
- 一面 総務委員会・表彰選考委員会を開き表彰者選考など行う 振興大会のおしらせ
- 二面 中型グループ共済の決算
- 三面 森林・林業・木材関係施策に関する説明会で林野庁幹部と意見交換 事務局連絡会議開催
- 四面 おしらせ 景況調査

当日の出席者は、全木連 吉条会長、松原副会長、西村副会長、鈴木副会長、辻井副会長、山根副会長、樋口支部長、横田副会長、全木協連 坂東会長、沖田副会長、井関副会長、内田副会長。

中型グループ共済の決算

事業所配当金は三百三十一万円

全木協連が運営する中型グループ共済の第三十八保険年度(平成二十四年七月～二十五年六月)の決算の結果、事業所配当金は三百三十一万九千六百九十円となった。これを各加入事業所に支払った。これは配当対象保険料の八・八%にあたる。

一方、保険金の給付状況は、主契約、特約をあわせ二千六百三十一万円余と手厚い保障を行った。中型グループ共済は、一年ごとに収支計算を行い、剰余が生じたときは配当金として支払う。昨年度に続き、当年度は配当が行えることとなり、加入事業所のご協力に感謝する。

木材業界の事情を反映して、ここ暫らくの間、新規加入を上回る脱退が続き、保険契約額の減少が著しく、このまま続けば、配当のない場合も考えられる。当制度の、すぐれた内容、特色をご理解いただき、加入拡充にご協力願いたい。

中型グループ共済の加入拡充を

全木協連が運営する中型グループ共済は、傘下事業所役員、従業員の業務上、業務外の事故を幅広く保障する生命共済保険。開始以

来三十八年を経て、ただいま三十九年目である。全木協連では共済事業は事業の中核であり、今年度重点的に加入推進にあたることにしている。

割安な掛金で

大きな保障

この制度の特徴は、割安な掛金で大きな保障が得られること、簡単な手続きで加入できること、一年更新のため経済情勢にあわせ必要な保障額を選べること、掛金は損金または必要経費に参入できることなど。

掛金は45歳男性なら

月額486円

掛金は男性、女性とも三十五歳以下は一定、その後年齢に応じ五歳ごとに掛金が変わる。たとえば、男性四十五歳であれば、掛金は月額四百八十六円で、保障内容は不慮の事故により入院した場合は、一日につき千六百五十円の入院給付金、病气死亡のとき百十万円の死亡保険金が保証される。

十四歳六カ月超七十歳六カ月以下の方が加入できる(ただし、六十五歳六カ月以上は死亡保険金百

十万円のコースのみになる。更新は七十五歳六カ月まで継続できる。

こんな場合に

お役に立ちます

▼二十六歳男性。工場でフォークリフトと木材の間に挟まれ、足

を骨折。入院給付金を給付。

▼二十九歳男性。スキーの間に骨折。入院給付金を給付。

▼四十九歳男性。トラックに荷物の積込み中、足を滑らせてトラックの荷台から転落。入院給付金を給付。

▼四十九歳男性。トラックに荷物の積込み中、足を滑らせてトラックの荷台から転落。入院給付金を給付。

◎保障内容

型	I型	II型	III型	IV型	V型
① 不慮の事故による死亡・高度障害のとき (死亡・高度障害保険金+災害保険金(障害給付金)) ※うち災害保険金(障害給付金)	2,000万円 ※1,000万円	1,400万円 ※700万円	1,100万円 ※550万円	660万円 ※330万円	220万円 ※110万円
② 病气による死亡・高度障害のとき (死亡・高度障害保険金)	1,000万円	700万円	550万円	330万円	110万円
③ 不慮の事故で障害状態になられたとき (障害給付金第2級～第6級)	程度により 700～100万円	程度により 490～70万円	程度により 385～55万円	程度により 231～33万円	程度により 77～11万円
④ 不慮の事故で5日以上入院されたとき (120日限度) (入院給付金)	1日につき 15,000円	1日につき 10,500円	1日につき 8,250円	1日につき 4,950円	1日につき 1,650円

企業経営に安心を提供します

全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年

中型グループ

などの備えに ケガ・病气入院	従業員のために 中型グループ	総合賠償補償制度	第三者への事故対策に
	経営者のために 総合保障プラン	任意労災保障制度	労働災害への対策に
		木退共	従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

森林・林業・木材関係施策に関する 説明会で林野庁幹部と意見交換

全木連・全木協連は、八月八日、正副会長・支部長と林野庁幹部との会議（森林・林業・木材関係施策に関する説明会）を開催し、木材関連全般、広範な問題について率直に要望や意見交換した。

当日の林野庁の出席者は次のとおり。沼田長官、末松林政部長、佐藤企画課長、吉田経営課長、測上業務課長、飛山木材産業課長、阿部木材利用課長、坂田木材製品技術室長、柱本木材貿易対策室長、田之島業務課長補佐、山之内木材産業課長補佐、湯澤木材産業課専門職。

会議は、吉条会長、沼田長官の挨拶に続いて、林野庁より、施策全体について説明があり、その後、意見交換し、閉会した。

意見交換で、当方からの発言要旨は次のとおり。

木材利用ポイント事業について継続拡充が重要。大手メーカー中心の利用で困る。中小工務店が十分に活用できる仕組みが必要。単年度の予算仕組みではなく数年にわたって取り組めることが必要。

バイオマス利用関連について、原料の製材向け、バイオマス利用向けの秩序ある調整が必要（皆伐推進も必要。川上の利益還元が大事。公共建築物等の木材利用推進について、耐火基準を満たすための

不燃材、準不燃材等の開発が必要。都市部の事務所の木造化、規制緩和。放射能汚染問題、パーク処理、製品の安全性等の普及と検査体制支援。ヒノキの建材仕様化

丸太生産、製材の技能者育成消費税軽減

各支部からの 意見・要望

林野庁幹部との会議にあたっては全木連では事前に各支部から意見・要望を集め、林野庁に提出している。

集まった意見・要望は多岐にわたるが、要約次のとおり。

- I 木材需要の大幅拡大対策の推進
- 1 木材利用ポイント事業の拡充等（北海道、東北、関東、東京、東海、近畿、中国、四国、九州）
- 2 当初予算における予算額の確保、事業期間の延長（三年程度）
- 2 公共建築物等への木材利用推進対策の拡充等（北海道、東北、東京、北陸、東海、近畿、中国、九州）
- 公共建築物等の木造化対策の拡充強化、街づくりで公共建築物と一体となった民間施設（木造等）への支援、公共土木工事への木材利用（木材活用の基準化）
- JAS製材品の利用徹底（仕様

書に反映）、建築基準法等の緩和

3 木造住宅等の支援対策の強化（北陸、近畿、四国）

ブランド化事業等の支援対策の拡充、耐震改修への木材利用推進（壁柱等）、住宅取得に係る消費税の減免、木造住宅の優遇税制創設、木造建築技術者の育成確保など

4 木質バイオマス利用の推進（東北、北陸、東海）

バイオマス利用施設への支援

燃料用素材の生産・集荷体制の構築及び輸送等への支援

チップ製造施設導入支援 製紙用チップ等との混乱回避のための情報提供と指導

5 木材利用の普及活動等の徹底（関東、東京、北陸）

一般消費者へのPR、木育の重点取組、新たな木材需要拡大対策

- II 木材の安定供給と効率的加工・流通体制の構築（北海道、関東、東京、東海、近畿、中国、四国）
- 1 原木価格の安定対策（伐り捨て間伐の導入等）
- 2 効率的加工・流通体制構築のための、機械施設整備促進（補助、リース、利子助成等の拡充）、製品開発・技術開発の取組支援、加工担い手の育成、軽油引取税減免の継続と対象機械の見直し
- 3 中小工場の連携・活性化のための支援（機械施設整備、運転資金確保、債務保証制度充実）
- 4 路網整備の促進、高性能機械オペレーターの育成
- 5 国有木材の安定供給の確保

III 東日本大震災復興対策等の推進（東北）

1 放射能汚染対策の拡充

滞留樹皮の早期処理対策の確立、森林モニタリング・木材汚染状況調査等の継続実施、木材の検査等安全対策の継続支援、木材の安全性に関する積極的なPR

2 被災地域・事業者の復興対策促進

復興のための機械施設導入支援（補助、融資、利子助成、リース等）

運転資金の安定的確保支援

復興資材として重要な木材の需給安定

- IV 森林整備加速化・林業再生基金の予算確保等（北海道、東海、中国）

返還対象事業の実行予算の確保

木材利用・加工流通施設整備等を計画的に進めるための事業の恒久化

林退共済制度加入の 促進強化月間 —お知らせ—

（御勤労者退職金林業退職金共済事業本部は、林業退職金共済制度の林業就業者の福祉増進、林業振興等への寄与前進のため十月を強化月間として、加入促進活動を実施することとしている。この活動には全木連ほか九団体が協賛している。

木づかい推進月間

林野庁は、十月を「木づかい推進月間」として集中的な活動を行うこととしている。

全木連事務局長会議を開催

全木連は、九月四日に東京・江東区新木場の木材会館で、全木連事務局連絡会議を開催した。各都道府県木連の事務局の役員ら約六十名が参加した。

会議は、尾蘭副会長の司会進行で始まり以下の議題について報告した。議題は、①平成二十六年概算要求②平成二十六年度税制改正要望③発電用バイオマスの認定に関する動向④公共建築物等木材利用促進法に基づく市町村方針策定状況⑤平成二十五年全木協連

に係る木材関係補助事業の推進状況⑥木材利用普及の取組み⑦環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の動き⑧JAPICの国産材マークへの対応⑨林野庁幹部との意見交換⑩全国木材産業振興大会の日程案についてそれぞれ、説明を受け、質疑応答、意見交換した。

また、木材利用ポイント事業について、現状報告、注意事項など報告、説明があり、終了した。

景況調査

25年8月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数94 回答数57 回収率61%

当月の状況

販売量	増加23% (13)	変わらず58% (33)	減少19% (11)
仕入量	増加19% (11)	変わらず63% (36)	減少18% (10)
販売価格	上昇12% (7)	変わらず84% (48)	下降4% (2)
仕入価格	上昇28% (16)	変わらず67% (38)	下降5% (3)

来月の見通し

販売量	増加60% (34)	変わらず38% (22)	減少2% (1)
仕入量	増加49% (28)	変わらず49% (28)	減少2% (1)
販売価格	上昇19% (11)	変わらず79% (45)	下降2% (1)
仕入価格	上昇32% (18)	変わらず66% (37)	下降2% (1)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	40% (20)	54% (27)	6% (3)
南洋材	42% (20)	52% (25)	6% (3)
北洋材(欧州材を含む)	43% (22)	43% (22)	14% (7)
国産材	31% (17)	62% (33)	7% (4)
建材	39% (20)	53% (27)	8% (4)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	53% (25)	41% (19)	6% (3)

〔製造部門〕

モニター数110 回答数57 回収率52%

当月の状況

販売量	増加23% (13)	変わらず45% (25)	減少32% (18)
仕入量	増加18% (10)	変わらず43% (25)	減少39% (22)
販売価格	上昇7% (4)	変わらず93% (53)	下降0% (0)
仕入価格	上昇28% (16)	変わらず68% (39)	下降4% (2)

来月の見通し

販売量	増加55% (31)	変わらず43% (24)	減少2% (1)
仕入量	増加50% (28)	変わらず46% (26)	減少4% (2)
販売価格	上昇5% (3)	変わらず95% (53)	下降0% (0)
仕入価格	上昇18% (10)	変わらず78% (44)	下降4% (2)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	52% (12)	44% (10)	4% (1)
南洋材	44% (8)	50% (9)	6% (1)
北洋材(欧州材を含む)	50% (10)	40% (8)	10% (2)
国産材	29% (14)	69% (33)	2% (1)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	45% (5)	37% (4)	18% (2)



5 May 2014 / 平成26年



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

平成26年(2014年)版 木材PR用カレンダー予約受付中

- ・1社100部単位にて、ご予約受付けます。
- ・ご希望のとおりに社名印刷してお届けします。(社名印刷はサービスいたします)
- ・1部700円(社名印刷が昨年と同じ場合は1部680円に引き下げます)。消費税別。
- ・サイズ 364X515 mm
- ・お申し込みは、全木連(03-3580-3215)まで

林業・木材産業の発展を支えます!

昭和38年創立以来、林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行っています。

(対象業種)

- | | |
|----------|-------|
| 造林・育林 | 素材生産 |
| 木材・木製品製造 | 薪炭生産 |
| 林業種苗生産 | きのこ生産 |
| 木材卸売 | |



平成25年度東日本大震災復旧緊急保証の受付を開始いたしました。詳しくは基金までお問い合わせ下さい。

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: http://www.affcf.com